

**はっきり「返事」をする。～6月の全校朝会より～**

返事は「つながり」のために大切な**2つの「あ」**（挨拶と安全）の挨拶とセットであることをまず伝え、下記のように話しました。

**元気の良いはっきりした返事をするのが、とても大切です。**

それが、温泉小学校の「めざす児童」につながるからです。

**1 かしこい子（主体的に学ぶ子）**

元気の良いはっきりした返事ができる子は、やる気があります。しかも素直です。

「やる気」と「素直」は、伸びる秘訣です。

**2 やさしい子（話し合える子・学び合える子）**

はっきりした返事をする人は、相手を尊重し、人と人とのつながりを大切にしています。だから、思いやりがあります。「尊重する心」「つながる心」「思いやりの心」

が優しい行動に結びつきます。それが、集団での学び合いに大切です。

**3 元気な子（目標をもち、がんばりぬく子）**

はっきりと大きな声で返事をしていると、体から元気があふれてきます。心も体も元気であるからこそ、目標に向かってがんばりぬくことができます。

名前を呼ばれるたびに、返事をします。はっきり返事することを、挨拶と同様に大切にしていきたいと思います。ご家庭でも、今後もよろしくお願いします。

**しっかり「言葉」で伝える。～7月の全校朝会より～**

「言葉は何のためにあるのか」を下記のように話しました。

**1 物の名前や意味**

例えば、「りんご」と言えば、実際にりんごが無くても、頭の中に赤いりんごが映像として浮かびます。また、「雨の日、1年生がプールに入った。」と言えば、1年生がプールに入っている画像（動画）が無くても、「寒そう」「晴れだったら良かったのに」という様々な思いがわいてきます。これが、言葉の働きの1つ目です。

**2 考える道具**

私たちは、言葉を使って考えます。例えば、毎週金曜日の学習タイムでは、対話タイムをしています。子どもたちは様々なテーマで自分の考えを対話カードに書き、対話をしています。以前、「最近嬉しかったこと」というテーマがありました。

私も子どもたちと同じように、以下の通り実際に書いてみました。

「立ち番をしていて、班長さんに

『遅くなったのに、待っていてありがとうございます。』と言われたこと。」

理由1…立ち番でお礼を言われたのは、初めてだったから。

理由2…「ありがとうございます」と、感謝の言葉をきちんと言える温小っ子に、心が温かくなったから。

理由3…「ありがとうございます」と言われ、「これからも立ち番をがんばろう」と思えたから。

このように私たちは、言葉を考える道具として使っています。

**3 つながる**

人は誰も、一人では生きてゆけません。人と人がつながるために「言葉」があります。「言葉」を使って相手に心伝えることで、より良い関係が成立するのです。

例1…「～したい」【自分の気持ちを、はっきり伝える。】

例2…「どうしよう？」【困ったり、分からなかったりした時は、周りの人（友だち、先生、家族など）に積極的に相談する。】

例3…「～してほしい」【助けてほしいことを、遠慮なく言う。助け合いの心をもつ】

例4…「一緒に～しよう」【誘い合う。より良い仲間づくり】

例5…「～なるので、～しよう」【自分の成長、人間的なふれあいによる心の絆の深化、そして生活の向上を目指し、言葉を使って考え、より良い声かけをする。】